

開票率0%当選確実？

柳澤正久

最近のテレビ開票速報はつまらない。ほとんど開票が進まないうちに当選確実が決まってしまう。開票率0%で当選確実が出ることもある。1時間もすれば各政党の勝敗が見えてしまうから、すぐにテレビを消してしまう。当選確実がなかなか出なかった頃は夜遅くまで手に汗握って開票速報を見守った。政治に関心の薄い私にとっては政治家の話をじっくり聞く数少ない機会でもあった。

早すぎる当確報道は開票作業への冒涇ではないかとも思う。開票に携わる方々は、責任感と同時に、政治の動向が決まっていく最前線で働いているというやりがいも感じるのではないか。ほとんど開票もしないうちから当選確実を報道されたら、自分たちの仕事は当確報道の後始末かという気持ちにならないか。

選挙のとき意外政治に関心がないのは褒められたことではない。しかし、選挙は政治に関心を持つ第一歩にもなり得る。そのためにはテレビの開票速報は手に汗握るものであるべきだ。始まったとたんに勝敗が決まってしまうスポーツ番組など誰も見ないだろう。出口調査などにお金をかけず当確予測の基準を厳しくして、じっくりと政治に親しませてくれる開票速報にできないか。